

令和元年 第3回定例会

一 般 質 問

[会派代表質問]

印西市議会

順番	会 派 名	議員番号	議 員 名	質問方式
1	至 誠	1 5 番	藤 代 武 雄	登壇一問一答方式
2	創 進	1 6 番	増 田 葉 子	登壇一問一答方式
3	響（ひびき）	8 番	玉 木 実	登壇一問一答方式
4	新 政	1 8 番	軍 司 俊 紀	登壇一問一答方式
5	公 明 党	1 1 番	浅 沼 美 弥子	一問一答方式
6	日 本 共 産 党	2 0 番	山 田 喜 代子	登壇一問一答方式

至

誠

質問者 15番 藤代武雄

- 1 印西市総合計画について
 - (1) 生活環境に関する計画について
 - ①現状分析と課題について
 - ②今後の方策について
 - (2) 健康福祉に関する計画について
 - ①現状分析と課題について
 - ②今後の方策について
 - (3) 産業振興に関する計画について
 - ①現状分析と課題について
 - ②今後の方策について
 - (4) 教育・文化に関する計画について
 - ①現状分析と課題について
 - ②今後の方策について
 - (5) 都市基盤に関する計画について
 - ①現状分析と課題について
 - ②今後の方策について
 - (6) 住民自治・協働・行財政に関する計画について
 - ①現状分析と課題について
 - ②今後の方策について
- 2 1市2村合併協議会において策定した新市基本計画について
 - (1) 合併の必要性に対する検証
 - (2) 検証を踏まえての政策課題
- 3 次期総合計画について
 - (1) 社会的、地域的課題に対する対応

創 進

質問者 16番 増田 葉子

1 総合防災訓練の成果とこれから

総合防災訓練は、平成28年度は印西中学校区、29年度は台風で中止となりましたが、船穂中学校区、30年度は印旛中学校区と、中学校区を単位に、毎年10月に行われています。10年ほど前からは、学校の登校日とする等、子どもたちの参加を通じて地域連携を深める取り組みもされています。参加・協力団体が増え、年々規模は大きくなる一方で、開催の目的として掲げている、「地域の防災力の向上」や「住民の連携意識の醸成」はどのくらい達成できているのでしょうか。この10年間の成果を検証し、これからの訓練のあり方を考えていくべきと思い、以下、質問します。

- (1) 訓練の成果は、毎年どのように検証され共有されているか
- (2) 総合防災訓練を契機に地域連携の取り組みが進められた事例はあるか
- (3) 総合防災訓練の今後の課題は何か

2 「生きる力」を育むために

印西市の教育施策の柱は、変化の激しい予測困難な社会を生き抜く力、「生きる力」の育成と認識しています。自ら学ぶ力、感性豊かな心、健やかな体を育むために、幼児期の教育の充実や読書活動、英語教育の推進、道徳や人権教育などが掲げられていますが、「生きる力」とは具体的にどのような学習や体験によって育まれるものなのでしょうか。改めてお考えを伺います。

- (1) 「生きる力」は何によって育まれるものと教育長は考えているか
- (2) 印西市の教育活動において、「生きる力」の育成のために具体的にどのような指導・活動が行われているか
- (3) 集団宿泊体験ができる施設の必要性をどう考えているか

3 電力不足を逆手にとって

世界的企業であるGoogleのデータセンターが市内に進出すると発表され、改めて千葉ニュータウンの強固な地盤による立地優位性を実感しました。しかし、データセンターの集積により「電力不足」という課題も出てきていると聞き及びます。

市民生活から生じた課題でないとはいえ、印西地域として低炭素の取り組みをいっそう推進していかなければならないと考えます。一方で、再生可能エネルギーの普及で、「エネルギーの地産地消」という考え方が注目されて

います。電力不足の状況を逆手に、印西市として地産地消を進める取り組みは何かできないもののでしょうか。お考えを伺います。

- (1) 電力不足はどのような状況なのか
- (2) 市内でつくられ、買い取られた再生可能エネルギーの総量は把握できるのか
- (3) ソーラーシェアリングについての認識を伺う

4 ふれあいバス見直しの方向性

この8月1日から地域公共交通会議の新たな任期が始まり、いよいよ本格的に交通網の見直し議論が始まるものと期待されます。会派創進では、そうした動きに資するよう、先だって愛知県豊田市のコミュニティバスを視察してきました。豊田市の事例をご紹介しながら、印西市のふれあいバスの今後の方向性についてお伺いいたします。

- (1) 今後、どのような手順で見直しは進むのか
- (2) 豊田市のコミュニティバスは、主要な結節点をつなぐ基幹バスと結節点を中心に地域内をめぐる地域バスのネットワークで成り立っており、循環ルートを採用していない。ふれあいバスは循環ルートを今後も基本形とするのか
- (3) 豊田市では、合併を機に公共交通基本計画が策定され、基準サービスレベルと、市民一人あたりの財政負担がまず設定されている。ふれあいバスでは基準となるサービスレベル、市民一人あたりの財政負担は設定されるのか
- (4) 豊田市では、基幹バスの路線系統ごとにプロポーザル入札で運行事業者を決めており、複数の事業者が参入している。ふれあいバスではそのような手法は考えられるか

5 市有地の活用状況について

高花給食センター跡地や購入協議中のデキシー跡地、旧永治小学校跡のサウンディング調査の動向など、土地の活用に関わる話が数多く聞かれますので、現状はどうなっているのか、平成30年度の「財産に関する調書」における公共用財産、普通財産の土地活用状況について伺います。

響（ひびき）

質問者 8番 玉 木 実

- 1 市内における林業従事者の就職活動促進について
 - (1) 現在の市内林業就労人口はいかがか
 - ①過去5年間の就労人口の推移について
 - (2) 猪被害も山林整備が不備の為に、大好物のタケノコ管理が行き届かないと聞いていますが、実情はいかがですか
 - ①整備されていない山林の割合はどのくらいですか
 - (3) 今年から予算化しました森林環境譲与税の活用について
 - ①千葉県に先駆けて取り組む考えはありますか
 - ②これを活用して、林業人口促進と山林整備に向かう考えは

- 2 現在泉地区から鹿黒地区にかけて、物流センターが乱立していますが、市街化区域の活用について
 - (1) 印西市内の調整区域と市街化区域の割合は、どのくらいですか
 - (2) 現在の市街化区域の開発率はどのくらいになっていますか
 - (3) これからの若者が就労するための調整区域の開発についての考え方をおたずねします

- 3 空き家対策条例の進捗状況について
 - (1) ニュータウン地区にも空き家が目立ち始めていますが、印西市の空き家対策条例化はどのような予定ですか
 - (2) オリンピック・パラリンピック前に盛んに言われている空き家バンク制度について、市では実施検討を行っていますか。

新 政

質問者 18番 軍 司 俊 紀

- 1 「高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」の現状と今後について
介護保険法第117条に規定される三年を一期とする「第7期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」が令和2年度で計画期間満了となること

を受けて、市では令和3年度を初年度とする「第8期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」の策定にあたり、公募型プロポーザル方式により受託候補者を選定すると公表し、今年8月から9月にかけて、選定が進むと聞く。

- (1) 市が行う介護保険事業の円滑かつ適切な運営に資するため「介護保険運営協議会」が開催され、本年も8月7日に第1回目の協議会が開催されたと聞く。以下を確認する。
 - ①平成30年度の保険収納額と介護（予防）給付額の差から「余剰金」は約2.4億と計算されるが、この余剰金はどのように使われていくのか
 - ②当日、委員から医療・介護の連携に関して、「医療相談所の委託開設」について意見があったが、市ではどのように取り扱うのか
 - ③例年、運営協議会は2回開催されているが、充分か
- (2) 「策定支援業務委託仕様書」の内容からは第8期計画を策定するにあたり、業務内容として介護予防・日常生活圏域ニーズ調査などの8項目が提示されているが、市が主体的に計画策定を行えるのだろうか。
 - ①介護離職防止の観点から、主たる介護世代たる2号被保険者への意識調査はされないのか
 - ②アンケート調査については、介護サービス提供事業所向けだけでなく、介護支援専門員にも直接行うべきではないか
 - ③第8期計画において特に重視すべき視点をどのように考えているのか（仕様書には「計画策定にあたり特に検討を要する重要事項」という項目があるが、充分か。）

2 子ども・子育て支援新制度について

(1) 待機児童対策について

本年4月1日現在の「保育所等利用待機児童数及び利用定員数について」が8月9日に千葉県より公表され（8月13日更新）、印西市は浦安市、市川市に次ぐ、県内ワースト3位の94名の待機児童がいることが判明した。昨年4月1日時点では133名だったことを考慮しても、依然として困っている家庭があるというのが事実である。

- ①来年4月に5園開園すると聞くが、現在の「待機児童」対策はどのようなものがあるか
 - ②保育士の確保のために、さらなる処遇改善を進めるべきではないか
- ### (2) 幼児教育・保育の無償化について
- ①認可外施設の無償化について、市はどのように考えているのか
 - ②6月定例議会で取り上げたが、「給食の副食費」の減免についてどのように考えているのか

(3) 学童保育の充実について

①指導員の処遇改善について、市はどのように考えているのか。

3 情報教育について

2017年3月に告示された学習指導要領では、第1章総則の「第3教育課程の実施と学習評価」で「児童がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動」を計画的に実施することが記されています。

- (1) 文部科学省では「小学校プログラミング教育の手引（第二版）」を公表し、全国の小学校における円滑なプログラミング教育の実施を支援しているが、印西市ではどのように対応しているのか
- (2) 文部科学省、総務省、経済産業省では、2020年度からの小学校におけるプログラミング教育の全面実施に向けた機運醸成を目指し、2019年9月を「未来の学び プログラミング教育推進月間」とし、関係する取組を実施することとし、全国の小学校に対して、月間中にプログラミングの授業に取り組んでみるよう呼びかけたが、印西市の取り組みはあるのか

4 印西市と北総鉄道の関係について

北総鉄道では今年度の株主総会后、決算情報「2018年度決算について」を7月12日に公表しました。

その報道の中では、営業収益177億円、当期純利益は26億円、輸送人員は38,866千人と対前年比1.7%増、有利子負債は708億円超、累積赤字も未だ70億円と依然巨額との記載がある。

印西市では数字をどのように捉えているのか。

- (1) 板倉市長が株主総会で発言した旨の報道があったが、市は定期的に北総鉄道と意見交換できているのか
- (2) 沿線市、千葉県、国と連携が図られているのか
- (3) (1)、(2)について具体的な活動は行われているのか
- (4) 高運賃の是正について、安全性、利便性の向上と絡め、市はどのようなスタンスをとっていくのか

5 牧の原駅圏の将来について

- (1) 駅南側の国道464号沿いの歩道は、一部、街灯もなく、事故や事件の発生が懸念される。また、当該箇所だけでなく、以前から要望のある東の原二丁目北側の道路も街灯がない。計画的な照明設置（街路灯・防犯灯）について検討は行われているのか
- (2) ふれあい文化館の大規模修繕に向けて、牧の原南地区の自治会の意見は聞いているのか

公 明 党

質問者 11番 浅沼 美弥子

1 希望ある“幸齢社会”の実現へ

全ての団塊世代が後期高齢者となる2025年も真近に迫り、わが国最大の課題である人口減少・少子高齢社会に対応した取り組みが進んでいる。公明党は、全ての人々が健康で、住み慣れた地域で充実した人生を送り幸せを実感できる“幸齢社会”を目指している。

「人生100年時代」の高齢者施策、健康施策等について伺う。

- (1) 認知症施策の推進
- (2) がんや生活習慣病への対策強化
- (3) 「8050」問題（中高年のひきこもり）の取組
- (4) 2040年問題（高齢者人口がピークを迎える）の取組

2 防災・減災対策

近年、自然災害の激甚化・頻発化により、各地で甚大な被害が発生。「災害は忘れたころにやってくる」といっていた時代が今や必ずやってくるとの認識に代わっている。

公明党は「命を守る」ために「防災・減災」を政治の柱と位置づけ、防災意識を高める教育を含めて社会の主流に押し上げていきたい。世界一災害に強いまち印西市を目指して以下伺う。

- (1) 危機管理室設置の背景とその取組
- (2) 水害リスクへの備え
- (3) 土砂災害への備え
- (4) 地区防災計画の策定
- (5) 自主防災組織の強化策
- (6) 防災人材の育成・支援
- (7) 今後の協定締結計画、被災自治体パートナー制度等の検討
- (8) 「受援計画」の整備・策定

3 障がい者支援

- (1) 読書環境の整備状況と読書バリアフリー法の施行を受けた取組
- (2) ヘルプカード利用状況等とヘルプマークの導入
- (3) 障がい者や合理的配慮への理解促進

4 次期総合計画や都市マスタープラン等の策定と市民がわくわくするような夢のある印西市のまちづくり

- (1) 庁内検討、提案、PTなど職員等の力を活かす方策の検討はされているか
- (2) 交通量調査など現状と課題を把握するための調査等の必要はないか
- (3) 民間活力の導入等の調査・研究
- (4) 木下駅圏、小林駅圏のまちづくり施策の方向性
- (5) 市長の考え

5 SDGsの取組

平成30年第1回定例議会の公明党会派代表質問で取り上げた際、答弁で「庁内の意識を高めていくこと」や「今後策定されえる各種計画や関連事業を実施していく中で市民はじめ企業などへの周知を図り、理解促進につなげたい」と回答している。

- (1) その後の取組状況
- (2) SDGsに取り組む意義
- (3) SDGsの導入・推進で世界に誇れる印西市を構築できないか

日本共産党

質問者 20番 山田 喜代子

1 北総線高運賃の解消に向けて

市民の日々の生活を脅かしているのが北総線の高運賃である。あらゆる世代に、そして行動範囲まで制限がかかり、大きな影響を及ぼしている。どう解消する考えか。

- (1) そもそも高運賃の原因は何と捉えているか
- (2) 親会社である京成電鉄の経営状態をどう分析しているか
- (3) 消費税10%により運賃はどうなるのか
- (4) 庁内での検討はどうか
- (5) 市長の見解

2 核兵器の廃絶と世界の恒久平和の確立ー平和事業について

1995年（平成7年）10月11日、「非核平和都市」を宣言した。

今年も8月1日の広報いんざい一面に平和の鐘とともに中学生の平和への

願いを込めた標語を掲載し市民に周知を図っている。

来年の2020年（令和2年）は、宣言から25年、終戦から75年の節目を迎える年となる。今後市として平和事業をどう展開する考えか。

3 住宅リフォーム事業について

- (1) 2014年（平成26年）から始まったリフォーム事業の実績はどうか
- (2) 市民にとってのメリットは
- (3) 施工業者にとってのメリットは
- (4) リフォーム事業の目的は達成されているとの認識か

4 非常勤職員の労働環境の改善について

- (1) 実態の把握はしているか（部署別人数・男女別、賃金・手当、年次休暇取得状況等）
- (2) 非常勤職員の役割（任務）とは何か
- (3) 課題を把握しているか
- (4) どう解決していく考えか

5 いこいの湯の早期再開を

健康の保持と社交の場としての17年間稼働のいこいの湯の閉鎖の後、市民と議会の共同の力で、再開された。

しかし、再開後間もなく菌の発生で閉鎖となり、何カ月か待たされた後、再々開された。喜んだのも束の間、2度目の菌の発生により又々閉鎖の憂き目にあっている。

- (1) 今までどう検証し防止の努力と対策を行ってきたのか
- (2) 再開の見通しはどうか

6 いのしし対策について

年々増え続けるいのししの農作物等への被害は拡大する一方であり、車や人への被害も又然りだ。

- (1) いのしし発生から今日までの捕獲状況
- (2) 被害総額
- (3) 対策に費やした総額
- (4) 捕獲後の処理は焼却ではなく、ジビエ料理に使用するなど他の方法の考えは
- (5) 今後の対策